

×整理番号	
×受理年月日	

## 液化石油ガス設備工事届書

年 月 日

吉川松伏消防組合  
管理者 様氏名又は名称及び法人に  
あつてはその代表者の氏名  
住 所

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届出します。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	
当該設備の使用目的	
貯蔵設備の貯蔵能力	
工事の内容	

- (備考) 1 ×印の項は記載しないこと。  
2 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙1-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		kg ( kg × 基)	
規則 19条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
3号 イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋設式 容積 _____ m <sup>3</sup> 材質 _____	製品仕様書及び明細図
3号 ロ	保 安 距 離	用途地域等 (①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 構造壁等の有無 ① 有 ・ ② 無	設置場所付近配置図 (保安距離を示す) 構造壁等の配置図 構造図、施工時写真
3号 ハ	安 全 弁 及び安全弁元弁	①試験合格品 ・ ②大臣認定品 元弁をみだりに操作できない措置 規定吹出し量 W1= _____ kg/h W2= _____ kg/h	
(1)			
(2)	液 面 計	① 試験合格品 ・ ② 大臣認定品 方式: _____	
(3)	過充填防止装置	① 試験合格品 ・ ② 大臣認定品	
(4)	カップリング用液流出防止装置付き液取入弁	① 試験合格品 ・ ② 大臣認定品	
(5)	ガス取出弁及びガス放出防止器等	①試験合格品・②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置(①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
(6)	液取出弁及びガス放出防止器等	①試験合格品・②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置(①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
(7)	カップリング付き均圧弁	① 有 (1. 試験合格品・2. 大臣認定品) ・ ② 無	
(8)	付属機器(1)~(7)の保護	プロテクター厚さ _____ mm	
(9)	警 戒 標	表示内容: 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
(10)	緊急連絡先の表示	表示内容:	施工後写真
(11)	腐食防止措置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 3. 電気防しよく措置 (地下貯槽) ① 有 (マグネシウム _____ kg× 本) ・ ② 無	施工時写真
(12)	支柱又はサドル等	① 支柱 ・ ② サドル ・ ③その他	施工後写真

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙1-2)

3号ニ 地上貯槽	(1)	基礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工後写真
	(2)	車輛が接触しない措置	措置方法:	施工後写真
	(3)	支柱又はサドル等の固定		施工後写真
	(4)	接地	接続線の断面積 _____ mm <sup>2</sup> 接続方法: 接地棒の直径 _____ mm 長さ _____ mm	施工後写真
	(5)	安全弁放出管の設置	頂部からの高さ _____ cm	施工後写真
3号ホ 地下貯槽	(1)	頂部は地盤面下 30 cm以上	頂部埋設深さ _____ cm	施工図面・施工時写真
	(2)	埋設場所に車輛乗入不可の措置	措置方法:	施工後写真
	(3)	浮き上がり防止措置	バルク貯槽食空体総質量 _____ kg コンクリート板の質量 _____ kg バルク貯槽の全容積 _____ m <sup>3</sup> コンクリート板の容積 _____ m <sup>3</sup>	基礎図面・施工時写真
	(4)	石塊等のない土砂の使用		施工時写真
	(5)	ガス検知用孔あき管設置	設置本数 _____ 本	位置図・施工時写真
	(6)	標識杭の設置		位置図・施工時写真
	(7)	プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて _____ mm	貯槽使用図面
3号へ	2 m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法:	配置図(火気距離示す) 構造図・施工後写真	
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有・無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあっては、告示に定める要件に適合する資料	
6号	貯槽と調整器の間の液状化石油ガスの滞留防止	①単段減圧式をブローカー内・②二段減圧式一体型を貯槽の直近・③二段減圧式分離型の一次側をブローカー内・④その他	施工後写真	
7号	規則第18条第4~7号第8号の2~16号第18~22号の基準	(別紙3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽~調整器 _____ MPa 調整器~メータ _____ MPa 一次調整器~二次調整器 _____ MPa		

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙 3)

2 供給状況等

高 圧 部	主な管の材料			
中・ 低 圧 部	露出部	主な管の材料		
	埋設部	主な管の材料	深 さ	m
	ピット	① 有 (図面に明記すること。) ・ ② 無		
供 給 状 況	調 整 器	①自動切替式 (1. 分離型・2. 一体型) ②二段減圧式 (1. 分離型・2. 一体型) ③単段減圧式	能 力	kg/h
	メ ー タ ー	①マイコンⅡ ・ ② S ・ ③ SB ・ ④ その他 ( ) , _____ 号		
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	① 有 ・ ② 無		
	対震自動ガス遮断装置	① メーター内臓 ・ ② 感震器連動		
	ガス漏えい検知装置	①有 (1. 流量検知式・2. 圧力検知式・3. 流量検知式圧力監視型) ・②無		
気化装置 (添付書類)	① 有 (形式 _____, 能力 _____ kg/h ・ ② 無 (認定書の写し)			
消 火 器	能力単位 A- ( ), B- ( ) 本数 ( ) 本			

3 充てん設備に係る事項

項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
充 て ん 事 業 者	名称 _____	
充 て ん 設 備 の 種 類	①規則第 64 条第 1 項に基づく設備 (新 型) ②規則第 64 条第 2 項に基づく設備 (従来型)	
車 輛 登 録 番 号	登録番号 _____	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 _____ 番号 _____	
許可番号及び許可年月日	許 可 番 号 _____ 許 可 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
車 輛 停 車 位 置	第 1 種保安物件までの距離 _____ m 第 2 種保安物件までの距離 _____ m	

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙4)

4 設備士等

設備士名		設備士免状番号	県 No.
設備士再講習受講年月日		年	月 日
ポリエチレン資格者氏名		資格番号	
配管用フレキ管資格者名		資格番号	
施工後の表示	① 有・② 無	施工完了年月日	年 月 日
工事業者連絡先電話番号			
販売事業者名・電話番号	① 有 ( ) ・② 未定		

5 その他の添付書類

1	現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し(再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。)
4	気密試験結果 (自記圧力計の記録された用紙の写し) * 中圧部分がある場合は中圧部分の試験結果も必要